

2010年度 事業報告

概況

他学会とも連携して活動するなど幅広く課題を取り上げて会員が研鑽するとともに、発表や議論の場を会員外にも提供しながら活動した。定期的な活動である学術総会、春季討論集会を開催した他、講演会を2回開催した。学会誌は2回発行し、合計16件の報文をweb上で公開した。会員が議論を深めることを目指して、学会ホームページ上に会員の自由投稿欄「論議の輪」を設けた。以上の如く実践的で具体的な活動を展開した。「その他事業（収益事業）」については実績がなかった。

I. 特定非営利活動に係る事業報告

1. 学術総会の開催

第7回学術総会を以下のように開催した。

日時：2010年9月28日(火) 10:00～18:00

会場：お茶の水女子大学共通講義棟

参加者：66名

内容： 学術発表：10件

特別講演：1件 講演者 主婦連合会 佐野真理子氏

2. 春季討論集会の開催

春季討論集会(2011)を2011年3月8日、東京都千代田区学術総合センターにて社会技術革新学会と共同で開催した。

参加者：85名

テーマA：化学物質のリスク評価に関する信頼性と効率的な推進体制を考える

テーマB：プロドライバーの過剰な働き方を考える

テーマC：消費生活用製品の事故情報をどう活かすか

テーマD：ポリシーイノベーション概念の検証

- リチウムイオン2次電池の事例を含めて -

各テーマともに最初に全体会で座長から問題提起を行った後に、分科会に分かれて討論を行った。

各テーマの参加者

テーマA	6名
テーマB	9名
テーマC	36名
テーマD	24名

3. 講演会の開催

(1) 第7回学術総会(2010年9月28日)に合わせて特別講演会を実施した。

・講師：佐野真理子氏(主婦連合会)

「安全・安心の確保に向けて～消費者が求める安全対策・施設対応のあり方～」

(2) 春季討論集会(2011年3月8日)に合わせて特別講演会を実施した。

総合演題「日本で創出されたリチウムイオン2次電池が世界を変えた」

・講師：西美緒氏

「リチウムイオン2次電池の事業化に至る挿話」

・講師：永井愛作氏

「リチウムイオン2次電池の性能を支える材料の実業化の経緯から今後の課題を
探る」

4. 学会誌『化学生物総合管理』の発行

(1) 第6巻第1号(2010年3月発行) 総ページ 125ページ

特集「東京都健康安全センターの活動成果報告シリーズ」: 11件

報文: 1件

(2) 第6巻第2号(2010年12月発行) 総ページ 74ページ

報文: 2件

OECD 既存化学物質初期評価シリーズ特集: 2件

学会ホームページで公開するとともに科学技術振興機構(JST)が運営している
J-STAGE(電子ジャーナルシステム)に登載した。

5. 研究会活動

今年度中の活動実績はなかった。

6. 知見の集大成、体系化に関する事業

今年度中の活動実績はなかった。

7. 教育・普及・啓発に関する事業

「知の市場」の講座運営に協力した。

1) 「知の市場」の紹介をホームページやニュースレターで行った。

2) 以下の講座について学会は連携機関になり、関係する会員が講師として協力した。

科目 No.	科目名	副題	実施場所
WT111	化学生物総合評価 1	リスク評価の基本的考え方 発がん物質を例として	早稲田大学
TT121	化学物質総合管理 1	化学物質総合管理の基礎と応用	東京工業大学

WT131a	農薬総合管理	農薬のベネフィットとリスクの総合管理 の実際	早稲田大学
--------	--------	---------------------------	-------

8. 講習およびセミナーの開催

今年度中の活動実績はなかった。

9. その他

(1) 自由投稿欄「論議の輪」の活用

2009年10月にホームページの投稿コーナーを統合し、新たな意見投稿欄として「論議の輪」を設けた。2010年度投稿件数は1件であった。

. 管理・運営に関する報告

1. 会員状況

2010年度の会員数の増減は下表のとおり

	2010年 4月1日	入会	退会	2011年 3月31日	実質増減
正会員	52	0	7	45	-7
学生会員	1	1	0	2	+1
賛助会員	5	0	1	4	-1

賛助会員名簿 2011年4月1日現在(入会順、敬称略)

住友化学株式会社

一般財団法人化学物質評価研究機構

みずほ情報総研株式会社

三井化学株式会社

2. 通常総会(第7回)

開催日時: 2010年6月24日(木)

会場: お茶の水女子大学

主要議案・2009年度事業報告および決算報告承認

- ・2010年度事業計画(案)および予算(案)承認
- ・定款の変更(事務所の住所表示の変更、役員交代時期の変更関連事項)
- ・奨励賞制度の創設

報告事項・年度内に制改定した細則類について報告があった。

3. 理事会

第 20 回から第 22 回まで 3 回開催された。

(1) 第 20 回理事会 2010 年 5 月 20 日(木)

主要議案・2009 年度決算報告

- ・ 監査報告
- ・ 通常総会議案審議
- ・ 定款変更審議

(2) 第 21 回理事会 2010 年 10 月 15 日(金)

主要議案・第 7 回学術総会実施報告

- ・ 中間決算報告
- ・ 春季討論集会の進め方

(3) 第 22 回理事会 2011 年 3 月 11 日(金)

主要議案・2010 年度決算見通し審議

- ・ 2011 年度活動計画(案)と予算(案)の審議
- ・ 定款変更経過と役員交代時期統一に関する確認
- ・ 春季討論集会実施報告
- ・ 奨励賞選考の途中経過報告
- ・ 学会誌査読方法の変更報告

4 . 企画運営委員会

第 46 回から第 50 回まで 5 回開催された。

学会の運営に関して具体的な施策を企画、立案するとともに業務の推進、調整を行った。

第 51 回 7 月 12 日(月) 主要議題 ・学術総会計画

(メール委員会形式で意思統一した)

第 52 回 9 月 10 日(金) 主要議題 ・学術総会実施報告

- ・ 定款変更手続きの進捗
- ・ 奨励賞選考の途中経過

第 53 回 10 月 15 日(金) 主要議題 ・学術総会実施報告

(理事会と同時開催)

- ・ 中間決算報告
- ・ 奨励賞選考の途中経過
- ・ 討論集会計画

第 54 回 11 月 16 日(火) 主要議題 ・討論集会計画

第 55 回 3 月 11 日(金) 主要議題 ・討論集会実施報告

(理事会と同時開催)

- ・ 2011 年度活動計画(案)
- ・ 2011 年度予算(案)
- ・ 定款の変更経過
- ・ 奨励賞選考の途中経過

5．編集委員会

Eメール編集委員会を活用しながら適宜開催し、学会誌の編集方針や内容の検討を行った。第6巻1号を2010年3月に、第6巻2号を2010年12月に発行した。また、編集委員をはじめ多くの会員に投稿論文の査読をお願いした。査読方法についてはあらかじめ査読依頼可能者をリストアップするなど査読の実効をあげる試みを実行中である。

6．定款変更に伴う事務処理

2010年6月の第7回通常総会において定款変更が行われたので、所定の手続き処理を行った。

(1) 学会の所在地は「文京区大塚 2-1-1 お茶の水女子大学ライフワールド・ウオッチセンター内」に変更手続きを完了した。

(2) 役員の交代の届け出が6月(内閣府)と8月(法務局)に分かれているのを、6月交代に統一すべく、必要な定款変更の承認手続きを内閣府に対して行った。法務局の登記上は、2011年6月22日付で理事会員が一端辞任し、6月23日に選任し直すことで処理できる。

7．広報活動

(1) ホームページ

学会のPRツールとして、ホームページを開設しており、適宜更新作業を行った。

(2) ニュースレター配信

No.93 から No.106 まで 14 回配信し、会員宛の連絡ツールとして活用した。(2009 年度は 18 回)

8．運営資金状況

当会は、年度内実収入を会計処理基準にしている。会員にニュースレターで納入依頼を行ったほか、未納者各人宛に納入状況を連絡して督促するなどして、会費の納入を要請した。一方で、企画内容を充実させつつ支出管理を行った結果 2010 年度は収入 999,311 円に対し支出 722,731 円となり、当期としては 276,580 円の余剰となった。これは次期へ繰り越すこととなった。

以上